

2018（平成30）年10月12日

報道資料

Do a front
山口西田読書会

哲学と美術トークセッション — 経験と感覚を結ぶ —

Do a front と山口西田読書会は、山口で「哲学と美術」の可能性を模索していくことになりました。ここに哲学とは西田幾多郎の根源的な問いを受け継ぐ山口在住の研究者有志の関心領域を意味し、美術とはそれに呼び合う作風の美術家を意味します。その準備として、このたび長野県で原始感覚美術祭を主催する杉原信幸さんを招き「哲学と美術トークセッション」を下記のとおり開催いたします。皆さまのご参加をこちらからお待ちしております。

なお、詳細は別紙「実施要領」のとおりです。

記

- 1 日 時 2018年10月27日（土）10：00から16：05
- 2 場 所 八坂神社
- 3 参加無料

信濃の国 原始感覚美術祭

2010年より北アルプス山麓の木崎湖（長野県大町市）で毎年開催されている美術祭。自然と真摯に向きあい原始へと還っていく感覚（体験）に美を見出す独自のコンセプトを貫いている。そこには外部と地元が出逢い、アートと伝統、都市と地方を結ぶ、文化の境界域としての祭が生まれる。

2018年8月に9回目の美術祭「水のハレとケ」を開催した。

<http://primitive-sense-art.nishimarukan.com/>

哲学と美術トークセッション
— 経験と感覚を結ぶ —
実施要領

■日時、場所

10月27日（土）10：00～16：05

八坂神社 山口市上堅小路100（駐車可）

プログラム 10：00～11：00 【講演】 原始感覚美術祭
11：00～12：00 【交流時間】
12：00～13：30 intermission
13：30～13：40 開会の挨拶
13：40～15：00 【トークセッション】
15：00～15：15 intermission
15：15～16：00 質疑応答
16：00～16：05 閉会の挨拶

■参加無料（申し込み不要）

■主催：Do a front

山口西田読書会

■助成：公益財団法人 山口市文化振興財団

■協力：山口大学教育学部佐野之人研究室 山口大学人文学部藤川哲研究室

* * *

【問い合わせ】

哲学と美術トークセッション事務局

電話 090-1125-2571（岡部）

753-0821 山口市葵2丁目3-5

[登壇者紹介]（登壇順）

杉原信幸（すぎはら のぶゆき） 美術家、原始感覚舎代表理事

1980年長野県生まれ。2007年東京藝術大学油画専攻修了。2010年より「信濃の国 原始感覚美術祭」を主催。現在、西丸震哉記念館アートディレクター。NPO法人原始感覚舎代表理事。

佐野之人（さの ゆきひと） 山口大学教授 教育学部

1956年静岡県生まれ。京都大学文学部哲学科卒業。同大学院博士課程中退。2010年より現職。哲学、倫理学を担当。主な研究分野はヘーゲル、京都学派（西田、田辺、西谷）。

藤川 哲（ふじかわ さとし） 山口大学教授 人文学部

1968年長崎県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修了。群馬県立近代美術館主任学芸員を経て、2013年より現職。美術史を担当。主な研究分野は芸術祭や国際美術展。